

国語科学習指導案

日 時 10月18日(火)5時間目

指導者 長 嶋 順 乃

1 単元名 クイズ作りを通して『科学はあなたの中にある』の読みを深めよう

2 単元の目標

- (1) 自分の知識や体験と関連付けたり比べたりしながら読み、科学について自分なりに考えようとする。【国語への関心・意欲・態度】
- (2) 文章の構成や展開、表現の仕方について読み取り、クイズの問題と答え、解説を、根拠を明確にして考えてまとめることができる。【読むこと(1)ウ】
- (3) 文中の抽象的な語句の意味を理解することができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)】

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
自分の知識や体験と関連付けたり比べたりしながら読み、科学について自分なりに考えようとしている。	文章の構成や展開、表現の仕方について読み取り、クイズの問題と答え、解説を、根拠を明確にして考えてまとめている。	文中に出てくる抽象的な語句の意味に注意して調べている。

4 単元について

(1) 単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では筆者のものの見方や、文章の展開について読み取っていく。『科学はあなたの中にある』は、教科書で扱う説明的な文章の中では、抽象的な考えを述べるために具体的な事例を挙げている文章として位置付けられる。本単元ではクイズ作りを行う。生徒は文章を読み込み、個人でクイズの問題や解説を書いたり、班や学級全体で他の人の考えを聞いたりする。クイズの問題や答えの根拠となる段落や部分を確認しながら学習を進めることで、事例と筆者の考えの関連の仕方、展開の仕方など、文章の特徴に生徒に気づいていくと考える。

最相葉月『科学はあなたの中にある』は、平成28年度教科書より掲載された書きおろしの論説文である。「科学とは何か」という問いにつて、筆者の同級生Mさんの話と、マイケル・ファラデーの講演を示しながら筆者の考えを述べている。科学の出発点は、日常の光景に対して固定観念を取り払い、「なぜ」と問う素朴な探究心にあると筆者はいう。そして、真実を理解したいという心の動きそのものが「科学」であり、「なぜ」と問うた瞬間から誰もが科学者なのであると結ぶ。科学と聞くと難解なものであると考えて遠ざけてしまいがちな読者に対して、身近なところから「科学」は始まるのだと筆者は語りかける。段落ごとの内容を捉えるような学習よりも、文章全体を通して

書かれている内容を読み取り、「科学」に対する生徒の考えを深めるような学習に適した文章となっている。

生徒が問題を作成し、答えと解説を考え発表するという活動の中で、目の前にある事象に対して疑問を持ち、それを解決していこうとした事例の中の登場人物たちの姿勢を迫体験させたい。

(2) 本単元で身につけさせたい力

学習指導要領の「C 読むこと」の目標のうち、本単元で身につけさせたい力は、文章の内容や表現の仕方について自分の考えを持ちながら読む能力である。

クイズの問題と答え、解説の検討においては、なぜそれが正解と言えるのか、ほかの答えではダメなのかなど、生徒同士の話し合いにより、根拠を明確にして考えをまとめる力が養われていくと考えられる。問題を作成するとき、検討の時間、解答するときなど、生徒が自ら何度も文章を読む必要がある。文章の構成や部分と全体の関わり、事実と意見の対応など、説明的な文章を読む学習での既習事項を応用して問題を作成しなければならない。解答する際も同様である。自分で問題を作成する段階、グループで問題と答えを検討する段階、そして実際に問題を出し合う段階で、生徒自身や生徒同士の関わりを通していろいろな見方から内容をより理解できるだろう。

(3) (1)(2)の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

他教科の授業や委員会活動などで、ある課題について自分の考えを持ち、その考えを周囲と共有する活動が行われている。個人で考えたことを、グループ、教室全体と段階的に共有し、考えを深めるという学習活動は国語科の学習でも行っている。

今回のクイズを作るという活動は、1年生『シカの「落ち穂拾い」—フィールドワークの記録から』で実施している。第1時に範読、通読と個人での問題作成、第2時に班ごとに検討、第3時にクイズ大会を行った(全3時間)。クイズ大会は班対抗で行った。回答班は、出題班が問題ごとに設定した制限時間内に、教科書を見て答えを考える。A3の紙に答えを書き、出題班に一斉に見せるという形で進行した。生徒は楽しく参加しており、解答するときも出題するときも、班で声を掛け合いながら行っていた。一方、クイズの問題を見ると、筆者の考えに迫るものもあったが、「○○という単語はいくつあるか。」といった単純な問題や、グラフを読み取り計算をする問題、制限時間が足りない問題などがあった。さらに出題班が答えてほしい内容を解答班が汲み取れないことや、解答された答えが正解か不正解か出題班が迷う様子が見られた。出題に至るまでの問題と答え、解説の検討が不十分であったことが原因であると考え、今回は検討の時間の指導を通してその改善をねらう。

5 生徒の実態

落ち着いた雰囲気の中で授業に取り組むことができる学級である。授業中の課題に対してよく考えて取り組んでおり、理解して意欲的に発表する生徒もいる。しかし、個人間・男女間で大きく学力差があり、低学力、学習に対しての意欲が低い生徒、書くことが難しい生徒がいる。そのような生徒は、わからない、できないと思ってしまうと課題に取り組むことを諦めてしまう様子も見られた。定期テストの結果からも、「読むこと」の内容で記述解答の問題を苦手に行っていることがわかる。その中で、学習に対して意欲的に取り組めることをねらい、グループで教え合う活動や、ゲームや

遊びの要素を取り入れた活動を授業に取り入れてきた。その際にはどの生徒も授業に積極的に参加することができた。本単元の学習を通して、学力に差のある集団でどの生徒も意欲的に授業に参加することができ、難しいと感じる文章であっても生徒同士で協力しながら読み深めることができるようにしたい。

6 単元の指導計画（5時間扱い）

次	時	学習活動と内容	指導や支援の手立て	◇評価
1	1	<p>○ろうそくを観察する。 ○ろうそくを観察して気づいたことや知っていることを挙げる。 ○学習の見通しを持つ。</p> <p>○全文を通読する。</p>	<p>○ろうそくを配る。</p> <p>○内容について関心を持たせる。 ○学習の流れを説明し、クイズを作ることを知らせる。1年生『シカの「落ち穂拾い」——フィールドワークの記録から』の学習を例に挙げる。</p>	<p>◇ろうそくについて気づいたことや知っていることを発表している。（観察）（関心・意欲・態度）</p>
	2	<p>○①M さんの話（p.218 1.3～p.219 1.4）②ファラデーの話（p.219 1.5～p.221 1.13）③それ以外・全体 についてのクイズを作ることを確認する。 ○問題と答え、解説の案を出す。</p>	<p>○一人2問以上考える。 必ず1問は「筆者は」から始まる ○問題が作りづらい生徒には、言葉の意味を問うものなど、作りやすい問いの形を示す。 ○教科書や辞書などを読み、根拠を明確にして解説を考えるよう助言をする。 ○個人で作成した問題をワークシートでチェックし、それをもとに班の編成を行う。</p>	<p>◇問題と答え、解説の案を考えている。（ワークシート）（読むこと）</p>
2	3 （本時）	<p>○班ごとに、考えたクイズの案を検討する。</p>	<p>○話し合いの流れを説明する。</p>	

	3 (本時)	<p>○個人で考えた問題を出し合い、問題や答えについて次の点について検討する。</p> <p>【検討する内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い方は適切か。 ・答えは問いに合っているか。 ほかの答えは考えられないか。なぜその答えなのか。 ・解答時間の長さ <p>○班で2問(+予備1問)に絞り込む。</p>	○話し合いが停滞している班には助言をする。	◇話し合いで自分の考えを述べている。(観察)(関心・意欲・態度) ◇根拠を確かめながら、問題や答え、解説について話している。(観察、ワークシート)(読むこと)
3	4	○クイズ大会を行う。班ごとに黒板の前へ出て出題する。解答する班は、制限時間内に教科書などを見て、答えを考える。	○進行の仕方を確認し、クイズ大会を行う。	◇自分の考えを持ってクイズ大会に参加している。(観察)(関心・意欲・態度)
	5	○筆者の考えについてまとめ、自分の体験や考えと比べる。	○筆者の考えや、その根拠となる事例の関連を、生徒が作ったクイズを振り返りながらまとめる。	◇筆者の考えや、事例の関連、内容について、学習を振り返りながら自分の考えをまとめている。(ワークシート)(読むこと)

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ・文章に書かれたことに対して、自分なりの考えを持って読もうとする。

【国語への関心・意欲・態度】

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について読み取り、根拠を明確にしてクイズの問題や解説を考え、まとめることができる。

【読むこと(1)ウ】

- ・文中の抽象的な語句の意味を理解することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)】

(2) 本時の学習活動

前時に生徒が個人で作った問題を班で出し合う。答えと解説を述べて、その問題と答え、解説が適切であるかについて、既習事項を活用しながら班で話し合う。次の時間に全体で発表することを踏まえて、班として発表する問題を絞り込み、役割分担を行う。

(3) 本時の展開

展開	学習活動と内容	指導や支援の手立て ◇評価
導入 5分	<p>○本時の学習活動と目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">クイズの問題と答え、解説を検討しよう。</div> <p>○問題を出し合い、その問題と答え、解説が適切かを班で話していくことを確認する。</p>	<p>◇本時の活動と目標を確認している。(観察) (関心・意欲・態度)</p>
展開1 30分	<p>○どのような点について問題と答え、解説を検討するか確認する。</p> <p>【検討する内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問い方は適切か ・ 答えは問いに合っているか ・ 解説は根拠があり、わかりやすいか。 (・ 解答時間の長さ) <p>○前時に作成した問題を班の中で出し合う。班長が進行役となり、1人1問ずつ問題を出していく。問題→答え→解説の流れで行い、1問ずつ話し合いを挟む。</p> <p>○検討を経て、自分が出題した問題や答え、解説がどのように変化したかを記録する。</p>	<p>○問題のテーマによって編成した班で行う。</p> <p>○話し合いが停滞している班に助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行の仕方、話し方 ・ 検討の仕方 ・ 一緒に問題を解き、疑問点を挙げる。など <p>◇自分の考えを話し合いで述べている。(観察) (関心・意欲・態度)</p> <p>◇根拠を確かめながら、問題や答え、解説について話している。(観察、ワークシート) (読むこと)</p>
展開2 10分	<p>○班で2問(+予備1問)に絞り込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する役割分担を決める。 (出題者、計時、答えを判定する) ・ 解答時間の長さを決める。 ・ 発表の練習をする。 	<p>○ほかの班と重ならないような問題を選ぶよう助言する。</p>
まとめ 5分	<p>○本時の活動を振り返る。</p> <p>○次の時間に、クイズを発表し合うことを確認する。</p>	<p>◇本時の活動を振り返っている。(観察、ワークシート) (関心・意欲・態度)</p>

『シカの「落ち穂拾い」——フィールドワークの記録から』 生徒が作成したクイズの例

【内容の読み取りが必要な問題】

問 シカが「落ち穂拾い」をする理由を、本文中の言葉を使って二つ答えなさい。

答 シカの本来の食物が不足しているから。

サルの落とす食物がシカの本来の食物よりも栄養価が高いから。

※文末を「から」で答えていないと不正解。

問 シカにとってサルはどんな存在か。

答 ありがたい存在。

※文末を「存在」で答えないと不正解。

問 宮城県牡鹿半島に生息するサルは約二百頭ですが、シカは何頭？

答 約三百頭。

問 筆者は今回の調査を通して、どのようなことをかいま見たように感じているでしょうか。

答 同じ場所にクラス生き物同士の結びつきの複雑さ、そしてその面白さ。

【グラフを読み取る問題】

問 落ち穂拾いの観察回数が一番多い月は何月か。

答 5月。

【グラフを読み取り、計算をして答える問題】

問 筆者が落ち穂拾いに出会う確率は何%か。四捨五入して少数第1位まで求めてください。

答 14.3%。

【文章やグラフ以外の部分から答えを探す問題】

問 原生林は人間の手が加えられていない自然のままの森林ですが、別名はなんでしょう。

答 原始林。

問 筆者の出身は何県？

答 富山県。